

船舶事故等調査報告書

平成27年4月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014広第197号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成26年9月21日 20時20分ごろ
発生場所	島根県西ノ島町大桂島南方沖 赤灘鼻灯台から真方位030° 930m付近 (概位 北緯36° 02.73′ 東経133° 00.21′)
事故等調査の経過	平成26年11月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート 彦丸、1.38トン SN3-13176（漁船登録番号）、個人所有 第272-21929号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	船尾船底部に擦過傷、シューピースに曲損等
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、知人（以下「同乗者」という。）2人を乗せ、釣りを終えて西ノ島町黒島鼻沖を北東進中、平成26年9月21日20時20分ごろ、大桂島南方沖の岩礁に乗り揚げた。 船長は、後方を同航していた僚船に引き下ろしを依頼したが、引き下ろすことができなかったので、同乗者と共に僚船に移って帰港した。 本船は、翌朝、僚船により引き下ろされ、西ノ島町浦郷港までえい航された後、修理された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 1、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の初期
その他の事項	黒島鼻は、島根県隠岐諸島の西ノ島南端に位置し、その北北東方沖に大桂島がある。 船長は、月に4～5回釣りに出て、本事故発生場所付近を昼間に何度も航行したことがあり、大桂島南方沖に岩礁があることは知っていた。 本船には、GPSプロッターが搭載されており、大桂島は表示されていたが、以前に航行した針路線コースや岩礁などは記録されていなかった。 船長は、本事故当時、GPSプロッターを見て航行していなかった。 船長は、大桂島の島影を見て、同島西方沖に向けて航行していると

	<p>思っていた。</p> <p>船長及び同乗者2人は、いずれも救命胴衣を着用していた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象等の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、黒島鼻沖を北東進中、船長が、大桂島の島影を見て、同島西方沖に向けて航行しているものと思ひ、船位の確認を適切に行っていなかったことから、同島南方沖に向けて航行していることに気付かず、同島南方沖の岩礁に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、本船が、黒島鼻沖を北東進中、船長が、大桂島の島影を見て、同島西方沖に向けて航行しているものと思ひ、船位の確認を適切に行っていなかったため、同島南方沖に向けて航行していることに気付かず、同島南方沖の岩礁に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPSプロッター等を活用して、本船と陸岸等との位置関係を確認しながら航行すること。